

営業の概況（2019年度中間会計期間）【単体】

【預り資産（預金、譲渡性預金、公共債・投資信託窓口販売）】

【生命保険窓口販売】 【金融商品仲介業務】

お客さまの資金運用ニーズに積極的にお応えするため、預金に加え、譲渡性預金、公共債や投資信託の窓口販売により預り資産の積み上げを図りました。

個人預り資産は、預金残高の増加を主因に2019年3月末比145億円増加し、9月末残高は5兆713億円となりました。また、法人預り資産についても、2019年3月末比30億円増加し、9月末残高は1兆6,684億円となりました。

以上の増加要因がありましたが、一方で公金預金の減少が大きく、預り資産全体では2019年3月末比555億円減少し、9月末残高は7兆1,945億円となりました。このうち、預金および譲渡性預金は2019年3月末比440億円減少し、9月末残高は6兆7,742億円となっております。

なお、生命保険窓口販売の期中取扱実績は259億円、金融商品仲介業務の期中取扱実績は486億円（株式211億円・外国債券等274億円）となりました。

【貸出金】

事業性資金につきましては、期間10年の経営計画『Vision 2027「未来共創プラン」』で掲げている長期ビジョン「地域・お客さま・従業員と分かち合える豊かな未来の共創」の実現に向け、地域金融機関として本業を通じた地域貢献活動に取り組んでまいりましたが、都市部を中心に2019年3月末比366億円減少し、9月末残高は3兆1,222億円となりました。

また、個人ローンにつきましては、ライフプランサポート活動に注力した結果、2019年3月末比195億円増加し、9月末残高は1兆1,589億円となりました。以上から貸出金全体の残高は、2019年3月末比240億円減少の4兆7,847億円となりました。

【有価証券】

有価証券運用につきましては、資金利益と金利動向等各種リスクとのバランスに配慮しながら運用を行った結果、2019年3月末比638億円増加し、9月末残高は2兆4,587億円となりました。

【人員】

人員につきましては、出向者を含め前年同期比81人減少し、9月末現在で3,018人になりました。

【償却・引当】

償却・引当につきましては、資産の健全性の維持・向上を図るため従来から厳正な資産査定により実施しております。当期の貸倒引当金は10億円の繰入（前年同期は2億円の繰入）となりました。

【リスク管理債権・再生法開示債権】

リスク管理債権額につきましては、再生支援活動を通じたランクアップや直接償却ならびに債権売却によるオフバランス化を実施する等減少に努めましたが、2019年3月末比2億円増加し、9月末残高は690億円になりました。

また、リスク管理債権比率（貸出金残高に占める比率）は2019年3月末比0.01ポイント悪化し、9月末では1.44%となりました。

なお、当行は部分直接償却を実施しておりませんが、仮に部分直接償却を実施した場合のリスク管理債権比率は2019年3月末比0.01ポイント悪化の1.17%となります。

また、再生法開示債権額（総与信ベース）では、2019年3月末比1億円増加し、9月末残高は694億円となりました。また総与信比率は0.01ポイント悪化し、1.41%となりました。なお、部分直接償却を実施した場合の再生法開示債権比率は0.01ポイント悪化の1.15%となります。

【損益】

本業のもうけを表すコア業務純益につきましては、資金利益の減少を主因に、前年同期比21億23百万円減益の103億37百万円となりました。

また、経常利益につきましては、有価証券関係損益の増加など増益要因もありましたが、上記コア業務純益の減益のほか、与信コストも増加したことから、前年同期比9億75百万円減益の122億44百万円となりました。

中間純利益については、前年同期比10億2百万円減益の84億14百万円となりました。

（1株当たり中間純利益44円73銭）

主要な経営指標の推移【単体】

(単位:百万円)

項目	期別	2017年度 中間会計期間	2018年度 中間会計期間	2019年度 中間会計期間	2017年度	2018年度
経常収益		57,586	57,415	56,143	116,499	113,461
業務純益		11,164	11,679	11,780	21,451	20,965
実質業務純益		11,164	12,143	11,422	21,451	23,937
コア業務純益		11,464	12,460	10,337	23,932	22,820
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)		10,752	12,009	10,211	22,268	21,794
経常利益		14,043	13,219	12,244	27,931	21,919
中間純利益		9,819	9,416	8,414	—	—
当期純利益		—	—	—	19,409	15,338
<small>業務純益：預金、貸出金、有価証券などの利息収支を示す「資金利益」、手数料収支を示す「役務取引等利益」及び外国為替、債券の売買損益等を示す「その他業務利益」の三つを合計した業務粗利益から一般貸倒引当金繰入額と経費とを控除したもので、銀行本来の業務から生じる利益を表す指標とされています。なお、業務純益の項目は損益計算書（中間損益計算書）上には設けられていません。</small>						
<small>実質業務純益：「業務純益＋一般貸倒引当金繰入額」で算出した利益指標です。</small>						
<small>コア業務純益：「実質業務純益－国債等債券関係損益」で算出した利益指標です。</small>						
資本金 (発行済株式総数)		15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)	15,149 (195,272千株)
純資産額		521,733	532,933	535,566	523,422	523,551
総資産額		8,299,146	8,367,975	8,357,984	8,439,546	8,225,712
預金残高		6,169,388	6,383,196	6,475,154	6,423,654	6,639,943
貸出金残高		4,560,711	4,730,045	4,784,716	4,676,114	4,808,712
有価証券残高		2,743,943	2,507,448	2,458,785	2,620,862	2,394,994
単体総自己資本比率 (国際統一基準)		13.03%	12.96%	13.25%	12.87%	12.56%
うち普通株式等Tier1比率		12.71%	12.96%	13.25%	12.87%	12.56%
従業員数[外、平均臨時従業員数]		3,083人 [1,373人]	2,995人 [1,408人]	2,928人 [1,435人]	2,961人 [1,385人]	2,884人 [1,410人]
信託報酬		0	0	0	1	1
信託勘定貸出金残高		—	—	—	—	—
信託勘定有価証券残高		18	18	18	18	18
信託財産額		3,021	5,288	6,092	4,472	5,656